



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月9日

上場会社名 株式会社 アドバンス・メディア
 コード番号 3773 URL <http://www.advanced-media.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 鈴木 清幸
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 経営管理本部長 (氏名) 立松 克己
 四半期報告書提出予定日 2018年11月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

上場取引所 東
 TEL 03-5958-1031

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	1,716	20.5	129	36.1	309	150.4	278	126.3
2018年3月期第2四半期	1,424	56.1	94		123		122	

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 246百万円 (112.3%) 2018年3月期第2四半期 116百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	15.96	
2018年3月期第2四半期	7.71	7.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	10,429	9,497	89.4
2018年3月期	7,212	5,504	73.2

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 9,319百万円 2018年3月期 5,277百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		0.00	0.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	8.6	700	8.0	680	11.4	561	7.4	31.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
特定子会社の異動には該当していませんが、株式会社Rixioを連結子会社として連結の範囲に含めております。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	18,267,524 株	2018年3月期	15,929,405 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	100 株	2018年3月期	100 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	17,425,627 株	2018年3月期2Q	15,929,330 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(会計上の見積りの変更)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「既存コアビジネスのさらなる成長」をBSR1（第一の成長エンジン）、「新規ビジネスの創生・M&A・海外事業」をBSR2（第二の成長エンジン）と位置付け、これら音声認識ビジネスに人工知能などを付加し価値を増幅させたBSR（超音声認識）ビジネスに進化させていき、増収増益の構造を強固にすることを目指しております。

そのような中、当社のコア技術である「AI音声認識」（AIにより認識精度などが向上した音声認識：AmiVoice®）や「音声AI」（音声認識を含む音声処理を前提としたAI技術：AmiAgent®）が、働き方改革の浸透、労働力人口の減少等から、各企業における生産性向上・業務効率化のニーズにマッチし、その利用が好調に推移いたしました。

その結果、売上高に関しましては、BSR1（第一の成長エンジン）はCTI事業部およびVoXT事業部が堅調に推移し、前年同期比11.3%増となりました。BSR2（第二の成長エンジン）は、ビジネス開発センター、連結子会社のAMIVOICE THAI CO., LTD.、グラモが大幅に増収し、前年同期比57.8%増となりました。当社グループ全体では、前年同期比20.5%増となり増収構造を強化することができました。

損益に関しましては、CTI事業部が前年に引き続いて利益率の高い大型のライセンス収入を得たことに加えて、BSR1（第一の成長エンジン）の全ての部門で黒字化するとともに、BSR2（第二の成長エンジン）が前年同期比で赤字幅を縮小させ、収益構造を強化することができました。経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益については、営業外収益として為替差益128百万円を計上したため、大幅な増益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,716百万円（前年同期は売上高1,424百万円）、営業利益129百万円（前年同期は営業利益94百万円）、経常利益309百万円（前年同期は経常利益123百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は278百万円（前年同期は純利益122百万円）となりました。

なお、アジア圏への事業拡大を行うために、香港にAMIVOICE INTERNATIONAL LIMITEDを設立いたしました。また、「AI音声認識」や「音声AI」を活用し労働効率化とサービス品質向上をさせた人々による新たなビジネス、「AISH（アイッシュ）」（AI Super-Humanizing: AIによるスーパーマン化）ビジネスを推進していくために、株式会社Rixioの全株式を取得いたしました。

音声事業の各分野別の状況は、以下のとおりであります。

CTI事業部（BSR1）

コールセンター業界において、人工知能や音声認識技術を活用する動きが活発化している中で、今までの当社実績等が評価され導入が進みました。また、株式会社NTTデータ数理システムのテキストマイニングツールとの連携や、トランスコスモス株式会社のコンタクトセンター向け音声認識ソリューションでの採用など、様々な企業との関係を強化してまいりました。これらによって増収し、当社グループ全体の業績を牽引いたしました。

STF事業部（BSR1）

ソフトバンクおよびワイモバイルのスマートフォン向け留守番電話サービスの音声メッセージ文字化機能として、音声認識技術AmiVoice®が採用されました。また、株式会社武蔵野銀行において、行員の発話を文字化し交渉記録を作成するために、音声認識技術AmiVoice®が採用されました。その他、クラウドサービス等が堅調に推移し増収となりました。

医療事業部（BSR1）

10月から販売を開始した医療向けのAI音声認識ワークシェアリングサービス「AmiVoice iNote」の開発を進めるなど、病院における入力業務等の効率化を実現すべく、製品・サービスの拡充を進めました。一方で、調剤薬局向け製品の売上が前年同期比でマイナスとなり、事業部全体では減収となりました。

VoXT事業部（BSR1）

働き方改革の推進に伴い効率的に議事録作成を行うニーズの高まりから、音声認識技術AmiVoice®を活用した議事録作成支援システムやクラウドサービスの採用が、地方自治体、大手民間企業や報道機関等で進み、大幅な増収となりました。

SEC事業部・海外事業部・ビジネス開発センター（BSR2）

SEC事業部は、パートナーとの連携が進みAI対話ソリューションAmiAgent®の利用が堅調に進んでいるものの、受託開発案件が前年同期比でマイナスとなり減収となりました。

海外事業部は、中国の家電メーカー美的集団のコールセンター全席へのコールセンター向け音声認識ソリューションの導入を進めてまいりました。一方で、事業体制やパートナー戦略等の再構築を優先したため、新規の受注が減少し減収となりました。

ビジネス開発センターは、建設業界向け建築工程管理のプラットフォームサービス「AmiVoice® スーパーインスペクションプラットフォーム」のユーザー数を堅調に増やしました。あわせて、同クラウドサービスを利用した人材（AISH）サービスも堅調に推移し、大幅な増収となりました。

連結子会社等（BSR2）

AMIVOICE THAI CO., LTD.（タイ王国）は、金融機関を中心にAI Virtual Agentの導入が進みました。また、既存顧客の拡張案件および新規顧客の受注獲得等を進め、大幅な増収となりました。

株式会社グラモは、株式会社レオパレス21向けに、スマートフォンによる家電制御機器『Le Remocon』や、スマートロック製品『Leo Lock』製品の納入が堅調に進み、大幅な増収となりました。

株式会社速記センターつくばは、自治体向け・裁判所向け・民間向け案件の受注獲得等を進め、売上高がほぼ前年同期通りになりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は8,924百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,222百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が3,538百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は1,505百万円となり、前連結会計年度末に比べ5百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、10,429百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,216百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は729百万円となり、前連結会計年度末に比べ7百万円減少いたしました。これは未払法人税等52百万円の減少等によるものであります。固定負債は202百万円となり、前連結会計年度末に比べ769百万円減少いたしました。これは主に社債が770百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、931百万円となり、前連結会計年度末に比べ776百万円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は9,497百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,993百万円増加いたしました。これは新株予約権の行使（無担保転換社債型新株予約権付社債の権利行使を含む）により資本金1,895百万円及び資本準備金1,893百万円の計上等によるものであります。

この結果、自己資本比率は89.4%（前連結会計年度末は73.2%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2018年5月8日付公表の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,341,883	7,880,816
受取手形及び売掛金	1,119,590	747,952
電子記録債権	18,525	13,067
商品及び製品	77,075	88,386
仕掛品	10,176	27,755
原材料及び貯蔵品	26,318	41,846
未収入金	3,196	5,368
その他	109,165	120,625
貸倒引当金	△4,403	△1,783
流動資産合計	5,701,528	8,924,034
固定資産		
有形固定資産		
建物	79,151	80,543
減価償却累計額	△39,893	△40,547
減損損失累計額	△32,655	△32,655
建物(純額)	6,602	7,340
その他	201,607	211,836
減価償却累計額	△143,705	△152,055
減損損失累計額	△11,348	△11,444
その他(純額)	46,552	48,336
有形固定資産合計	53,155	55,677
無形固定資産		
ソフトウェア	268,008	265,157
ソフトウェア仮勘定	42,779	79,052
のれん	5,565	22,752
その他	115	115
無形固定資産合計	316,468	367,078
投資その他の資産		
投資有価証券	619,479	587,045
敷金及び保証金	86,556	91,724
長期前払費用	282,597	260,134
その他	152,933	143,699
投資その他の資産合計	1,141,566	1,082,604
固定資産合計	1,511,190	1,505,360
資産合計	7,212,718	10,429,395

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	77,976	73,020
短期借入金	33,335	50,000
1年内返済予定の長期借入金	2,912	9,000
未払金	119,145	121,535
未払法人税等	126,089	73,961
前受金	198,038	290,700
その他	179,322	111,530
流動負債合計	736,819	729,747
固定負債		
社債	770,000	-
長期借入金	147,088	160,584
繰延税金負債	46,754	33,850
資産除去債務	7,682	7,751
固定負債合計	971,524	202,186
負債合計	1,708,344	931,934
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,973,097	6,868,417
資本剰余金	3,982,452	5,876,092
利益剰余金	△3,784,635	△3,506,611
自己株式	△149	△149
株主資本合計	5,170,765	9,237,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	105,950	76,684
為替換算調整勘定	869	5,040
その他の包括利益累計額合計	106,819	81,724
新株予約権	42,840	-
非支配株主持分	183,949	177,987
純資産合計	5,504,374	9,497,460
負債純資産合計	7,212,718	10,429,395

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	1,424,788	1,716,886
売上原価	401,699	495,460
売上総利益	1,023,089	1,221,425
販売費及び一般管理費	928,094	1,092,145
営業利益	94,994	129,280
営業外収益		
受取利息	11,379	19,676
為替差益	9,655	128,840
投資事業組合運用益	10,980	21,043
業務受託手数料	3,789	-
雑収入	1,653	1,500
持分法による投資利益	-	10,187
営業外収益合計	37,458	181,249
営業外費用		
支払利息	51	771
持分法による投資損失	8,740	-
雑損失	21	153
営業外費用合計	8,813	925
経常利益	123,639	309,604
特別利益		
新株予約権戻入益	9,364	-
特別利益合計	9,364	-
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純利益	133,003	309,604
法人税、住民税及び事業税	27,343	37,531
法人税等合計	27,343	37,531
四半期純利益	105,660	272,072
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17,225	△5,961
親会社株主に帰属する四半期純利益	122,886	278,034

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	105,660	272,072
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,215	△29,266
為替換算調整勘定	4,109	4,965
持分法適用会社に対する持分相当額	△5,635	△794
その他の包括利益合計	10,689	△25,095
四半期包括利益	116,350	246,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	133,576	252,938
非支配株主に係る四半期包括利益	△17,225	△5,961

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	133,003	309,604
減価償却費	83,378	93,608
のれん償却額	1,855	1,855
新株予約権戻入益	△9,364	-
固定資産除却損	0	-
持分法による投資損益 (△は益)	8,740	△10,187
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,043	△2,970
受取利息及び受取配当金	△11,379	△19,676
支払利息	51	771
投資事業組合運用損益 (△は益)	△10,980	△21,043
為替差損益 (△は益)	△9,241	△128,038
売上債権の増減額 (△は増加)	215,253	444,534
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△47,414	△44,417
前払費用の増減額 (△は増加)	△5,715	16,930
仕入債務の増減額 (△は減少)	△48,391	△11,686
未払金の増減額 (△は減少)	△2,749	△5,672
未払費用の増減額 (△は減少)	16,297	△21,010
その他	95,702	20,984
小計	408,003	623,584
利息及び配当金の受取額	10,140	21,330
利息の支払額	△51	△771
法人税等の支払額	△8,570	△73,256
法人税等の還付額	3,304	953
営業活動によるキャッシュ・フロー	412,826	571,841
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△324,000	△700,000
定期預金の払戻による収入	112,344	100,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△23,781
有形固定資産の取得による支出	△1,931	△24,902
出資金の分配による収入	19,800	20,700
無形固定資産の取得による支出	△103,704	△132,222
敷金及び保証金の差入による支出	△244	△4,165
敷金及び保証金の回収による収入	259	-
その他	△14,392	9,525
投資活動によるキャッシュ・フロー	△311,868	△754,847
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	-	50,000
短期借入金の返済による支出	-	△33,335
長期借入れによる収入	150,000	-
長期借入金の返済による支出	-	△416
新株予約権の行使による株式の発行による収入	-	2,990,400
自己株式の取得による支出	-	△14,280
財務活動によるキャッシュ・フロー	150,000	2,992,369
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,034	129,427
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	262,992	2,938,791
現金及び現金同等物の期首残高	3,428,289	4,237,053
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,691,281	7,175,844

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使(無担保転換社債型新株予約権付社債の権利行使を含む)による新株発行に伴い、資本金が1,895,320千円、資本準備金が1,893,640千円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。